

2016年4月期 決算説明会 ～決算概要及び中期経営計画～

2016年 6月23日
神島化学工業株式会社
代表取締役社長 池田和夫
(証券コード:4026)

目次

I 当社について	P. 1-5	III 2017年4月期 業績予想	P. 14-15
1. 会社概要	P. 2	IV 中期経営計画	P. 16-25
2. 沿革	P. 2	1. 経営の基本方針	P. 17
3. 事業内容	P. 3-5	2. 中長期的な経営環境認識	P. 17
II 2016年4月期 業績	P. 6-13	3. 中長期の経営戦略	P. 17
1. 当社業績の推移	P. 7	4. 業績計画	P. 18
2. 当社財政状態の推移	P. 8	5. 化成品事業の中期計画	P. 19-23
3. 業績概要	P. 9	6. 建材事業の中期計画	P. 24-25
4. 営業利益分析	P. 10	V 株主還元方針	P. 26-27
5. セグメント別業績	P. 11	VI 補足資料	P. 28-29
6. 財政状態(貸借対象表)	P. 12		
7. キャッシュ・フローの状況	P. 13		

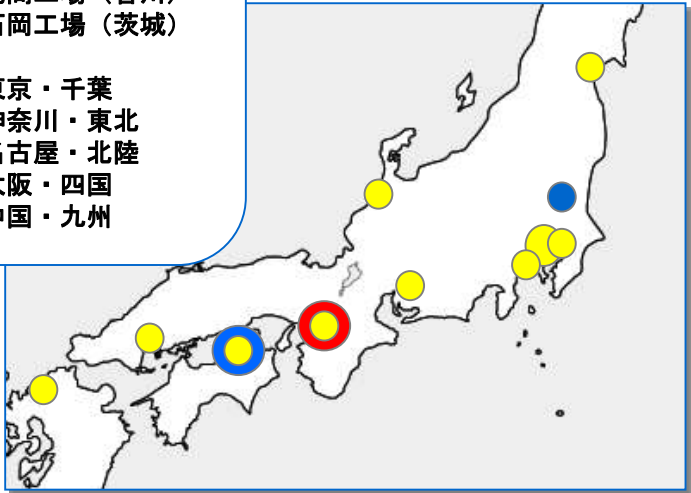
I 当社について

I 当社について

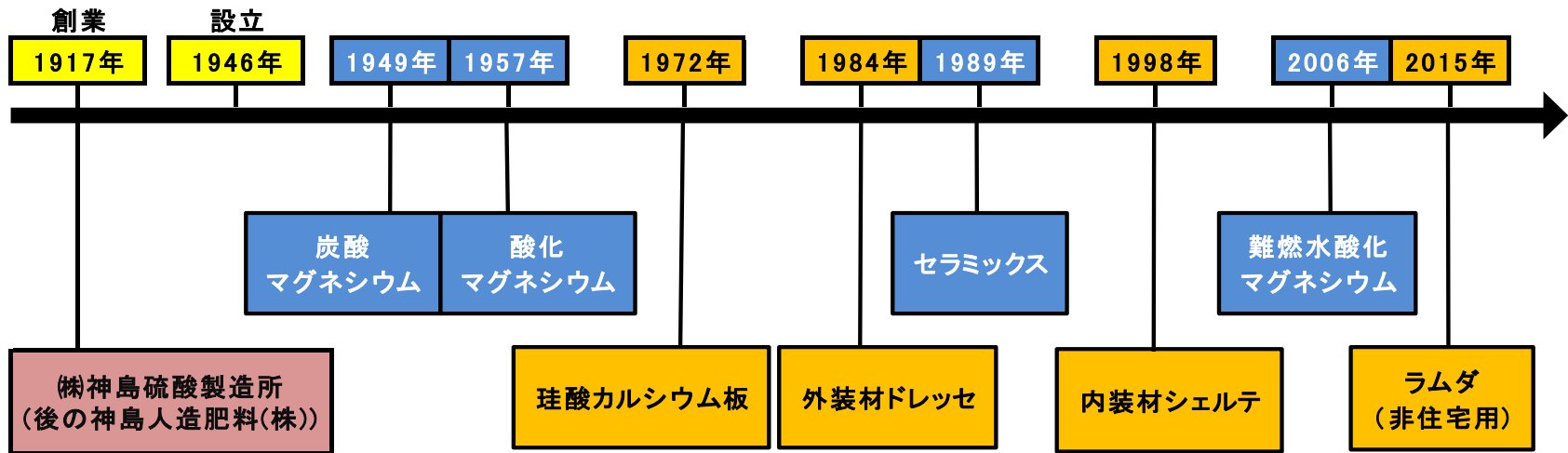
1. 会社概要

創業 1917年6月
設立 1946年3月
資本金 13億20百万円
従業員 600名
売上高 218億19百万円(2016年4月期)
代表者 代表取締役社長 池田和夫

本社	大阪市
工場	詫間工場（香川） 石岡工場（茨城）
営業所	東京・千葉 神奈川・東北 名古屋・北陸 大阪・四国 中国・九州



2. 沿革



3. 事業内容

【1】窯業系建材事業



①住宅分野



・防火サイディング

18mm厚以上に特化した深彫で本物志向の高級外壁材
職人の高齢化に対応した省施工「プレカット」対応

・不燃軒天ボード

木目柄、布目柄など多彩なバリエーションの軒天井ボード
GOOD DESIGN AWARD 2015 受賞

・不燃外部造作材（破風板）

寒冷地域の凍害にも強い「押出製法」の外部造作材
GOOD DESIGN AWARD 2015 受賞



3. 事業内容

【1】窯業系建材事業

②非住宅分野

・防火サイディング

LAMBDA ラムダ

店舗・中層ビル・サ高住など非住宅分野に高評価の外装材
多彩な塗装方法で様々な外観を演出



・耐火パネル

ソニックライトパネルNAS

中・高層ビルのカーテンウォール工法分野でシェア独占
国内最大サイズのパネルを完全プレカット



・内装用鏡面化粧パネル

SCELTE
〈シェルテ〉

表面の鏡面仕上げ、抗菌性の高い内装用化粧パネル
完全な『ゼロホルムアルデヒド』ボード



3. 事業内容

【2】化成品事業

①マグネシウム化合物

「海水法」により、「安価」で「安定供給」可能

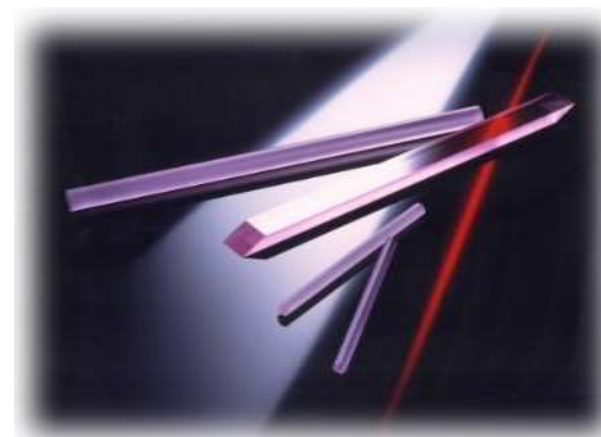
- ・酸化マグネシウム（スターマグ）
→ミネラルサプリメント、医薬原薬、ゴム、接着剤等
- ・難燃水酸化マグネシウム（マグシーズ）
→高分子の難燃化、低発煙性を有するノンハロゲン難燃剤
→エコ電線被覆材、自動車用電線被覆材、封止材等
- ・炭酸マグネシウム
→食品、医薬、天然ゴム、プラスチック、塗料、飼料等



②セラミックス

レーザー用YAGセラミックス

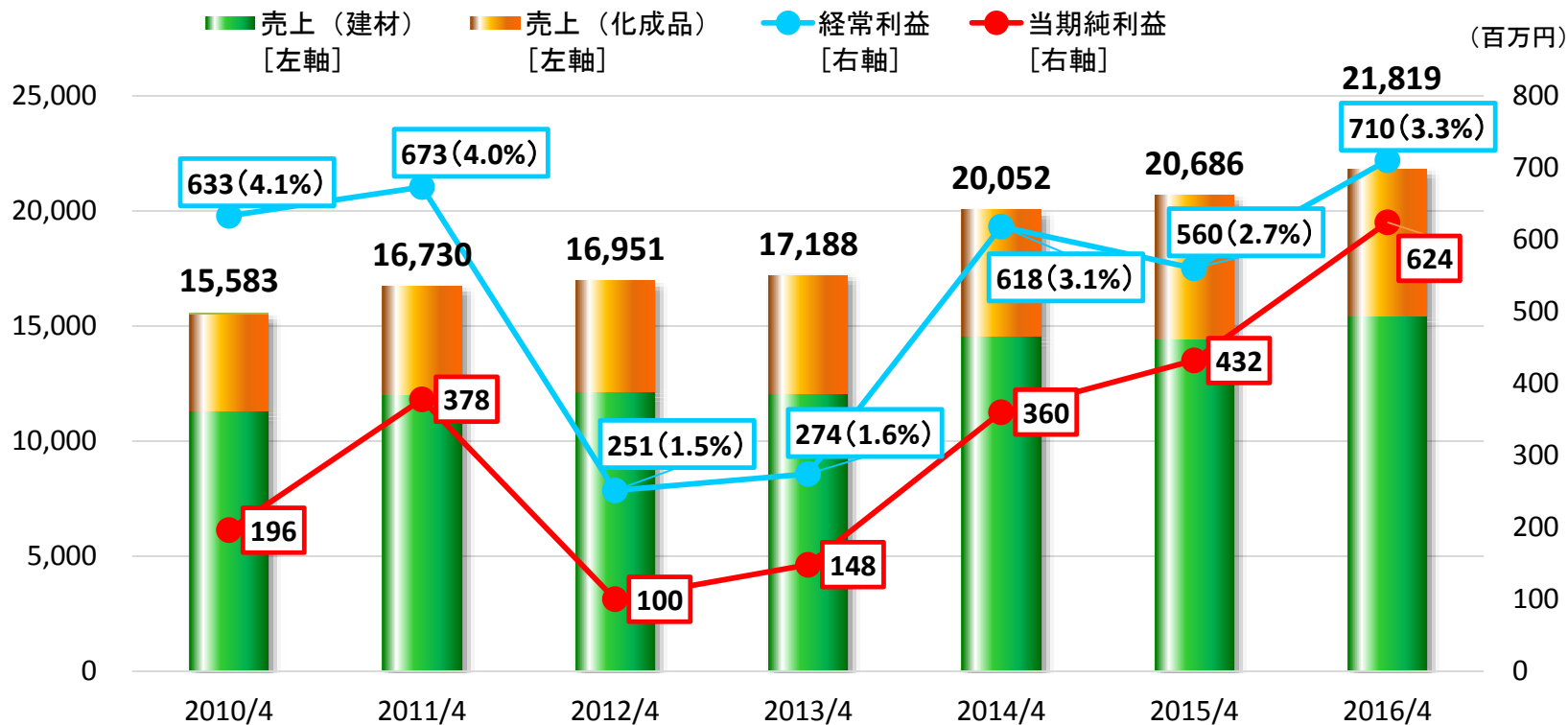
- 世界初、透明・大型結晶化に成功
- レーザー核融合発電や宇宙太陽光レーザーシステム等の大型出力レーザー開発に採用



Ⅱ 2016年4月期 業績

Ⅱ 2016年4月期 業績

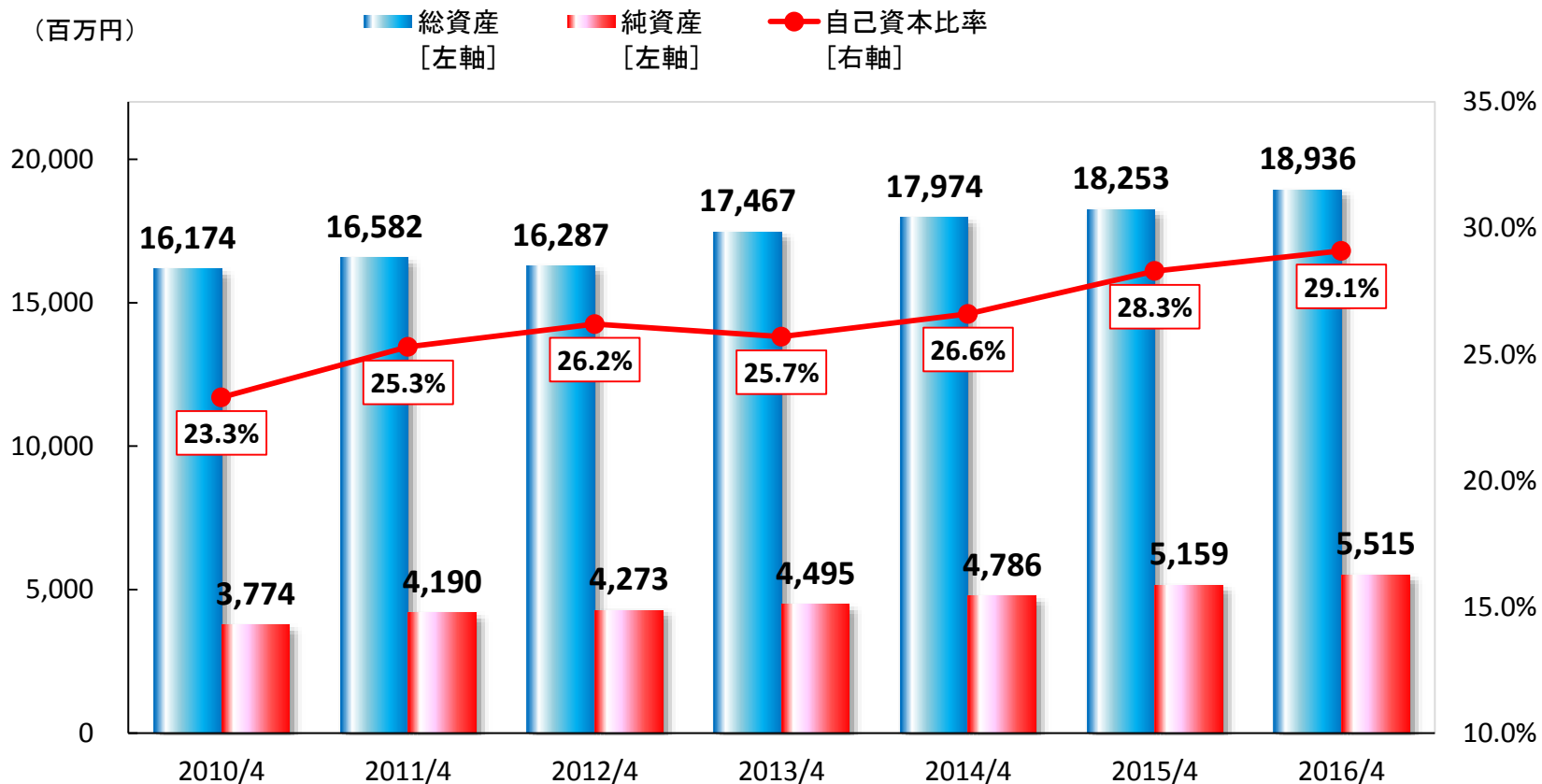
1. 当社業績の推移



ROE (%)	5.4%	9.5%	2.4%	3.4%	7.8%	8.7%	11.7%
---------	------	------	------	------	------	------	-------

・リーマンショック後、6期連続増収

2. 当社財政状態の推移



借入残高 (百万円)	8,540	7,092	6,510	8,065	6,974	6,670	5,630
総資産回転率 (回)	0.91	1.02	1.03	1.02	1.13	1.14	1.17

Ⅱ 2016年4月期 業績



3. 業績概要

(単位:百万円)

全体	15/4期	16/4期	前期比	
売上高	20,686	< 22,800 > 21,819	+1,132	+5.5%
売上総利益	5,429	5,987	+557	+10.3%
販管費	4,757	5,196	+438	+9.2%
営業利益	672	< 960 > 791	+119	+17.8%
経常利益	560	< 810 > 710	+150	+26.8%
当期純利益	432	< 520 > 624	+191	+44.2%
(減価償却費)	(1,029)	(1,152)	+123	+12.0%
(設備投資額)	(1,097)	(1,423)	+326	+29.7%
(研究開発費)	(549)	(623)	+73	+13.4%

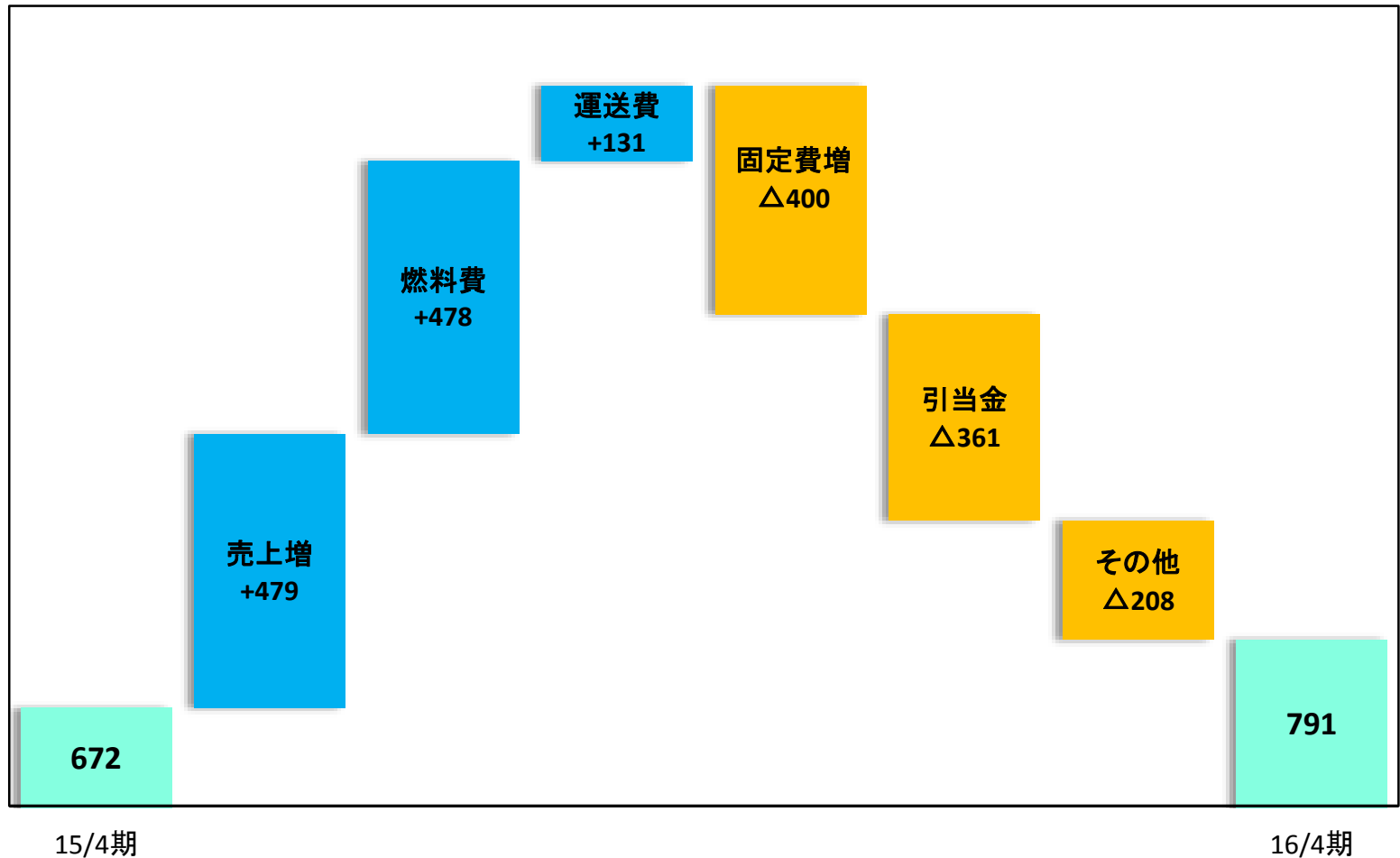
※<>は期初業績予想値

- ・住宅市場は、消費税増税後の落ち込みから緩やかに回復するも、窯業系建材市場は若干の減少。
- ・売上高は、最高売上高を更新。
- ・経常利益は、金利低下による退職給付費用の増加を、燃料価格の下落等で相殺し、大幅増益。
- ・期初予想比では、退職給付費用の一括償却等の一時的な費用負担増により、営業・経常利益は未達。

4. 営業利益分析

(百万円)

営業利益の増減要因(対前期比)



5. セグメント別業績

(単位:百万円)

セグメント	15/4期	16/4期	前期比	
			増減	増減率
売上高	20,686	21,819	+1,132	+5.5%
建材	14,448	15,424	+976	+6.8%
化成品	6,238	6,394	+156	+2.5%
営業利益	672	791	+119	+17.8%
建材	113	△117	△231	—
化成品	1,033	1,422	+388	+37.6%
全社費用	△475	△513	△38	+8.0%

- (建 材部門) 売上高は、既存製品（住宅分野）が落ち込むも、非住宅分野（ラムダ事業）事業譲受により増収。
 損益面は、ラムダ事業・退職給付の一時的な費用負担から117百万円の損失。
- (化成品部門) 売上高は、マグネシウムの海外需要が着実に伸長し、2期連続で最高売上高更新。
 利益面も、輸入燃料価格の大幅下落・償却負担減等から、+388百万円（+37.6%）と大幅増益。

Ⅱ 2016年4月期 業績

6. 財政状態(貸借対照表)

(単位:百万円)

	15/4期末	16/4期末	増減	主要増減要因
内 現金及び預金	1,237	1,132	△105	
内 売上債権	4,982	4,522	△459	債権流動化△1,655
内 棚卸資産	3,796	4,277	+481	ラムダ+282
内 建物, 機械装置, 建仮	4,738	5,348	+610	取得+872、減価償却△986、建仮増+771
内 投資有価証券	796	457	△338	保有株式売却△253
資産計	18,253	18,936	+682	
内 仕入債務	2,947	3,413	+466	期ズレ+589
内 借入金計	6,670	5,630	△1,040	
負債計	13,094	13,420	+326	
純資産計	5,159	5,515	+355	
(自己資本比率)	(28.3)	(29.1)	(+0.8)	
負債・純資産計	18,253	18,936	+682	

- ・ 財務体質改善のため売上債権流動化16.5億円実施し、借入金圧縮 (66.7億円→56.3億円)
⇒自己資本比率は29.1%へアップ

Ⅱ 2016年4月期 業績

7. キャッシュ・フローの状況

(単位:百万円)

	15/4期	16/4期	増減
1. 営業活動によるCF	822	2,790	1,968
税引前当期純利益	518	921	402
減価償却費	1,029	1,152	123
引当金の増減 (減:△)	123	439	315
(小計)	1,671	2,513	841
売上債権増減 (増:△)	128	451	323
棚卸資産増減 (増:△)	△ 290	△ 597	△ 307
仕入債務増減 (減:△)	△ 274	466	740
(小計)	△ 435	321	756
法人税等の支払	△ 273	△ 26	247
2. 投資活動によるCF	△ 830	△ 1,718	△ 887
固定資産の取得	△ 890	△ 1,985	△ 1,094
有価証券の売却	0	248	248
3. 財務活動によるCF	△ 414	△ 1,177	△ 763
借入金純増減	△ 303	△ 1,040	△ 736
配当金の支払	△ 73	△ 73	0
4. 現金・現金同等物の増加額	△ 422	△ 105	317
5. 現金・現金同等物期末残高	1,237	1,132	△ 105
借入金残高	6,670	5,630	△ 1,040

Ⅲ 2017年4月期 業績予想

Ⅲ 2017年4月期 業績予想

(単位:百万円)

全体	16/4期(実)	17/4期(予)	17/4期(予)		増減	増減比
			内 上期	内 下期		
売上高	21,819	22,350	10,860	11,490	+530	+2.4%
営業利益	791	1,280	580	700	+488	+61.7%
経常利益	710	1,200	540	660	+489	+68.9%
(経常利益率)	(3.3%)	(5.4%)	(5.0%)	(5.7%)	-	-
当期純利益	624	860	370	490	+235	+37.8%
(減価償却費)	(1,152)	(803)	(358)	(445)	△349	△30.3%
(設備投資額)	(1,423)	(2,066)	(1,923)	(143)	+642	+45.1%
(研究開発費)	(623)	(639)	(321)	(318)	+15	+2.5%
一株当たり配当	12円	14円	7円	7円	+2円	+16.7%
(配当性向)	(17.6%)	(14.9%)	-	-	-	-

- ・ 経営環境としては、建材マーケットは、概ね横ばいで推移と予想。
- ・ 売上高では、建材部門は、概ね横ばいであるが、化成品部門で下期に増産設備完成による売上増を折込み。
- ・ 経常利益は、前期の引当金等一時的費用の剝落、及び償却負担減により大幅増益を予想。

IV 中期経営計画

IV 中期経営計画

1. 経営の基本方針

無機化学の可能性を追求し

「顧客満足を第一に考え、より広く深く社会に貢献していく」

2. 中長期的な経営環境認識

国内住宅建材業界は、中長期的には、少子高齢化と人口減少により縮小傾向

3. 中期の経営戦略

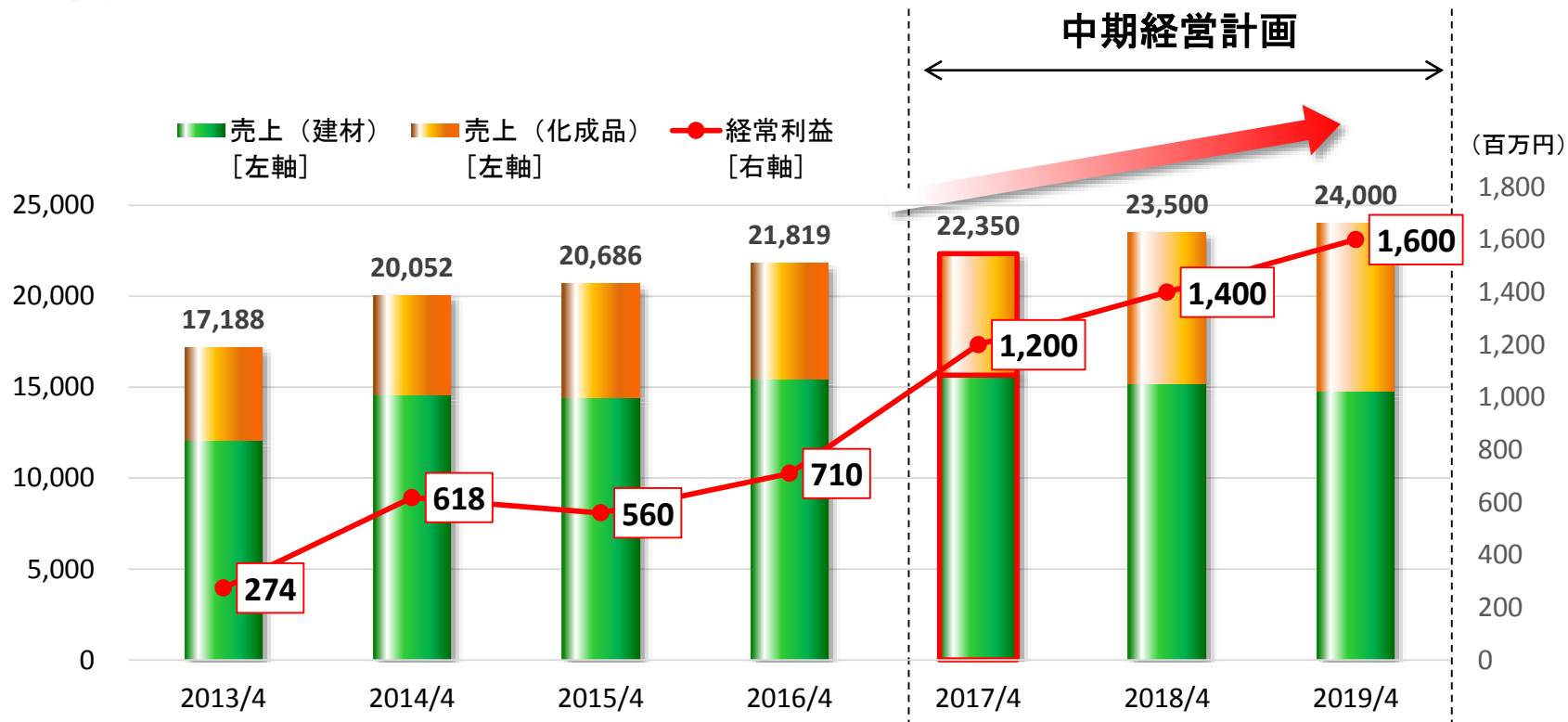
(1) 基本方針

成熟産業である「住宅分野」から、現有事業の成長産業である「化成品（マグネシウム）分野」への事業転換、及びアーリーステージの「セラミックス分野」の育成

(2) 基本戦略

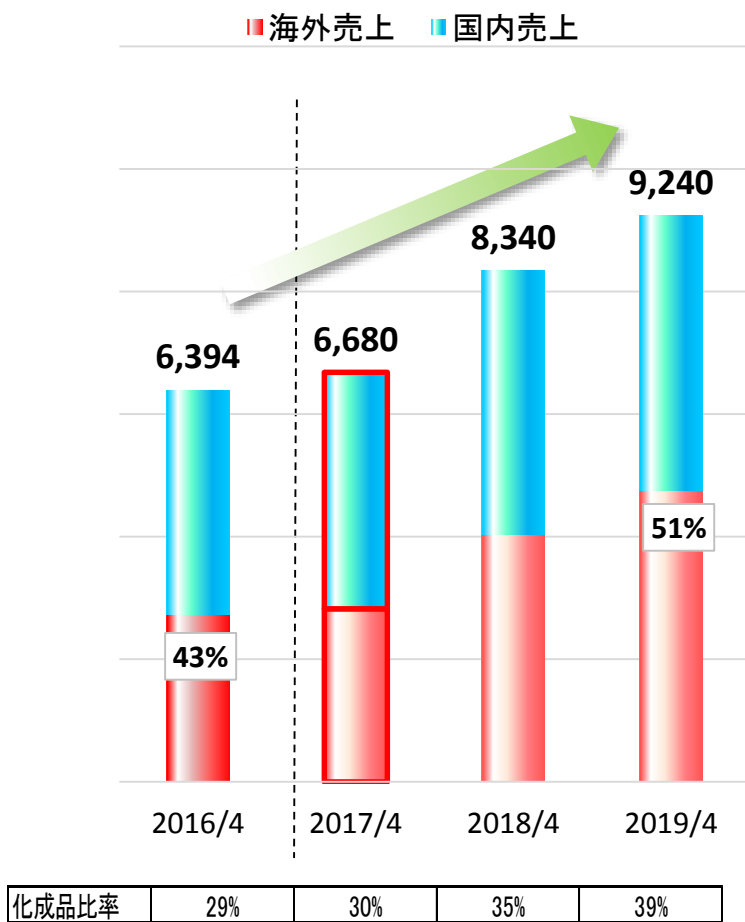
- ① 建材事業から化成品事業への業態変換
- ② セラミックス事業の本格的事業化
- ③ 住宅から非住宅へのエネルギーシフト
- ④ 住宅分野は、高級化路線

4. 業績計画



経常利益率	1.6%	3.1%	2.7%	3.3%	5.4%	6.0%	6.7%
自己資本比率	25.7%	26.6%	28.3%	29.1%	31.4%	34.7%	38.2%
総資産	17,467	17,974	18,253	18,936	19,760	20,280	20,920
純資産	4,495	4,786	5,159	5,515	6,200	7,030	8,000
設備投資額	1,647	553	1,097	1,423	2,066	1,120	750
研究開発費	510	515	549	623	639	672	686

5. 化粧品事業の中期計画



①化粧品事業（マグネシウム）は当社の成長エンジン

- ・ 当社売り上げ全体に占める化粧品事業部門比率を10%アップ
（29% <'16年4月> → 39% <'19年4月>）
- ・ 海外市場開拓し海外売上比率は50%超へ
（43% <'16年4月> → 51% <'19年4月>）



5. 化成品事業の中期計画

・'16年10月の化成品(マグネシウム)増産設備の完成により、売上高は約4割拡大の計画

・化成品増産計画概要

総投資額 : 17億円

概要 : キルンを中心とした設備及びGMP倉庫

期間 : '15年4月着工⇒'16年10月完成予定

生産能力 : 約40%アップ



イメージ図



キルン(焼成炉)

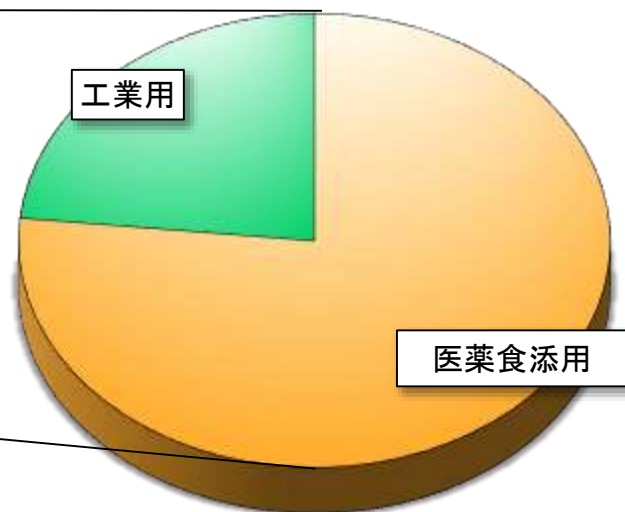
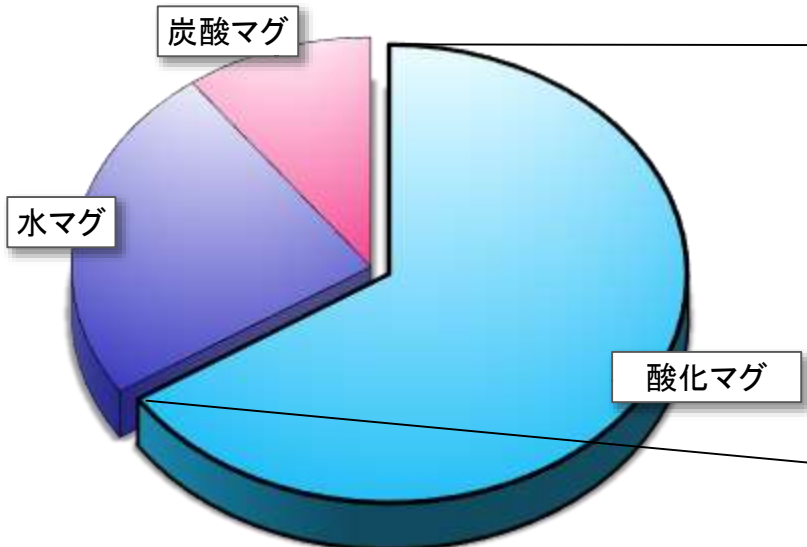
IV 中期経営計画

5. 化成品事業の中期計画

・増産分は酸化マグネシウムを中心に拡販 ⇒ 酸化マグネシウムの用途は医薬食添用

製品別拡販計画(増分)

酸化マグ用途別拡販計画(増分)

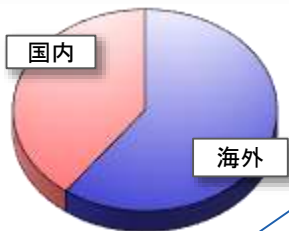


IV 中期経営計画

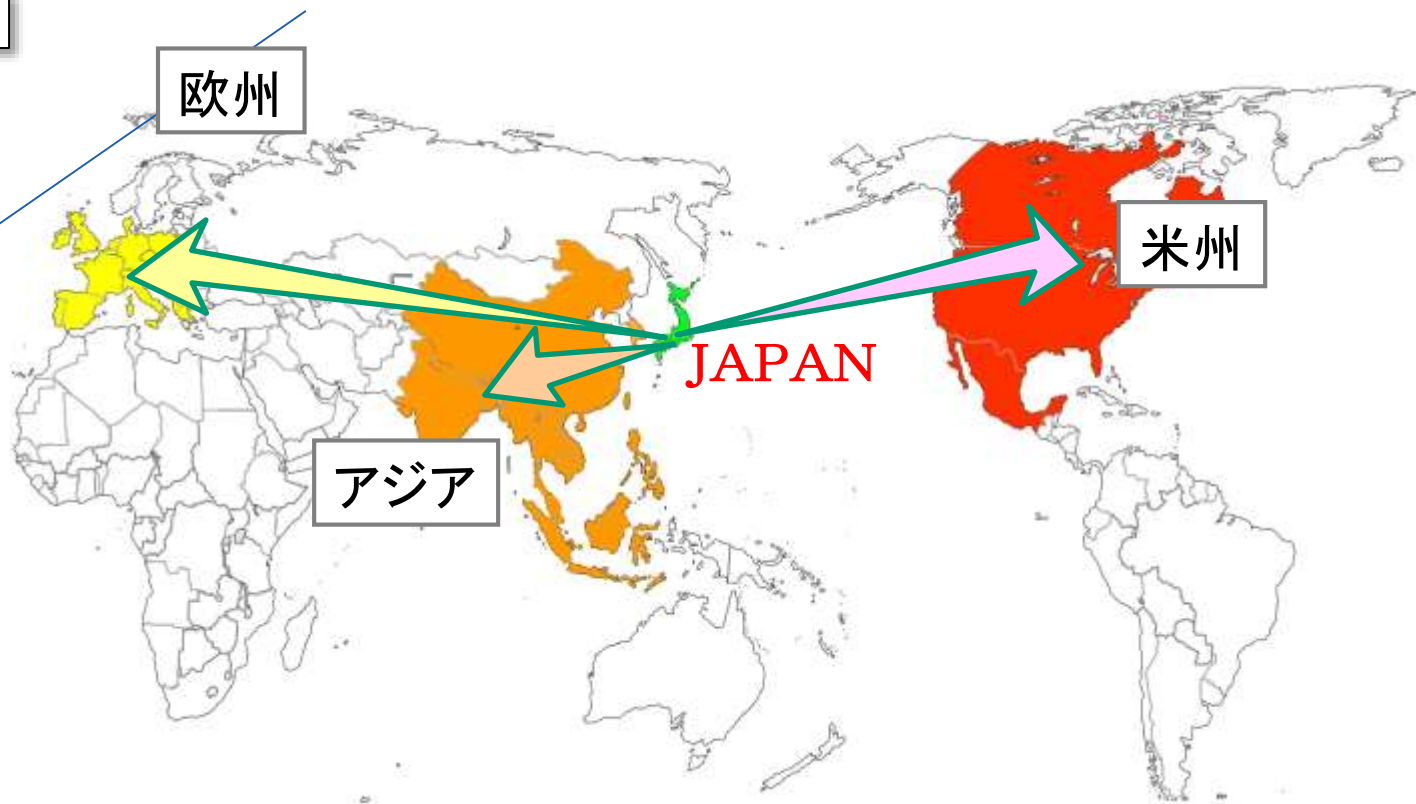
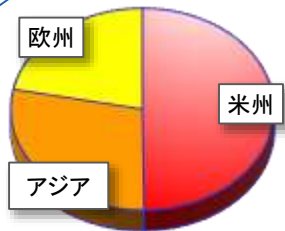
5. 化粧品事業の中期計画

- ・販売は、主に海外マーケットに注力
- ・酸化マグネシウムは、過半を米州向け拡販に注力

販売の海外／国内比率(増分)



酸化マグ拡販地域(増分)



IV 中期経営計画

5. 化成品事業の中期計画

②セラミックス分野



YAGセラミックス

Yttrium Aluminium Garnet (イットリウム・アルミニウム・ガーネット)

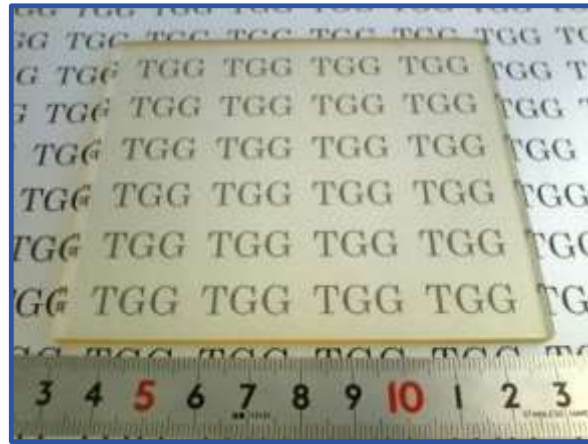
近年大型セラミックス使用の大出力レーザー開発が活発化。
開発拠点の増加、高出力化による使用量の拡大



TGGセラミックス

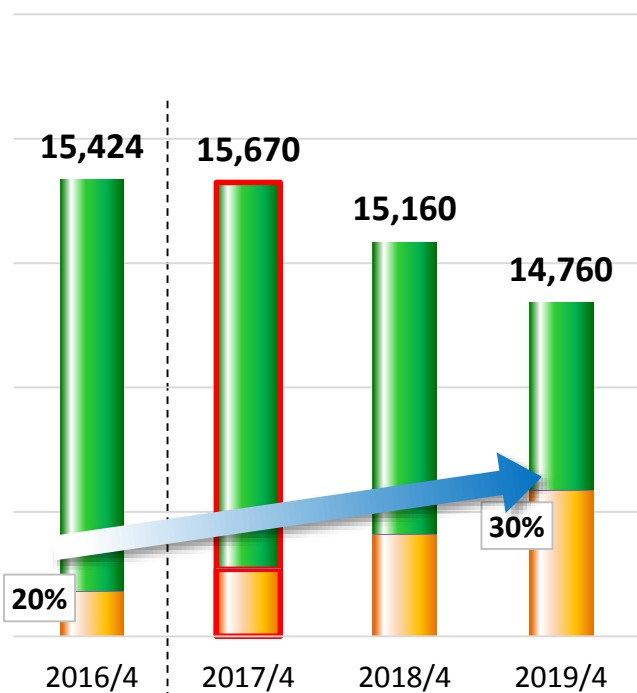
Terbium Gallium Garnet (テルビウム・ガリウム・ガーネット)

レーザー装置の安定動作には反射光防止装置が必須。
低出力ファイバーレーザー用から大口径による大出力レーザー開拓



6. 建材事業の中期計画

(百万円) ■住宅分野売上高 ■非住宅分野売上高



非住宅比率	20%	22%	25%	30%

③戸建住宅分野から非住宅分野（公共・商業施設等）へ転換

（非住宅比率 20%（'16年4月）→30%（'19年4月））

- ・ 独占的シェアを有する耐火パネルのオリンピック需要の取り込み
- ・ 昨年譲受したラムダ事業（非住宅）の当社既存建材部門とのシナジー効果の発現
 - － 既存顧客へのラムダ製品拡販
 - － 技術交流による新商品開発（遮音板等）



6. 建材事業の中期計画

④既存戸建住宅分野では、高級化路線に集中

- ・ 防火サイディング事業は、18mm厚の高級品「ドレッセプレミアム」に集中し、高級市場内でのシェアアップ
- ・ 強みの軒天ボード・破風板も、高級品（ラフォーレティンバー・ラフォーレグレイス）に注力
- ・ 内装化粧ボード（シェルテ）は、厚さ3mm市場に新規参入し、新流通経路による拡販



V 株主還元方針

V 株主還元方針

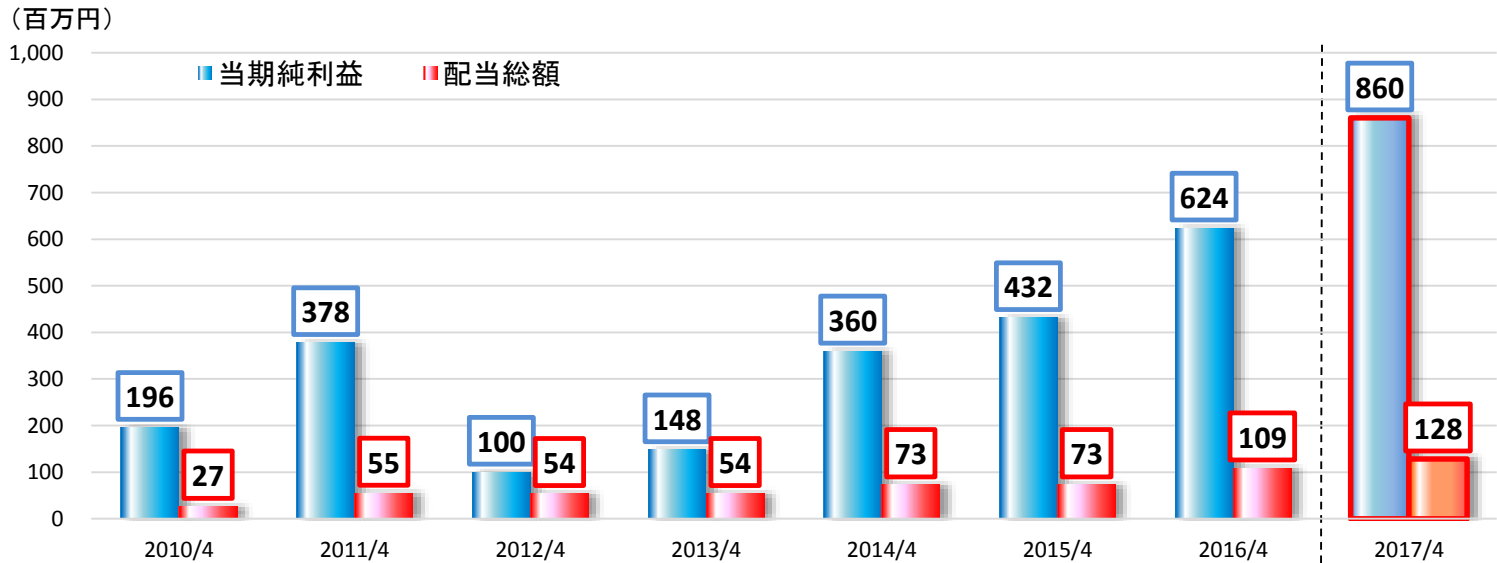
・ 配当方針

長期的・安定的な配当の継続を基本に各期の利益水準、配当性向及び投資・外部負債の圧縮のための内部留保の確保等を総合的に勘案の上、利益還元を行う。

・ 1株当たり配当額

(当期) 4円増配、12円。(’16年7月開催の株主総会で決議予定)

(次期) 収益力回復と経営基盤改善から、中間配当を再開し、年間で2円増配の14円を予想。



配当(円/株)	3円	6円	6円	6円	8円	8円	12円	14円

VI 補足資料

地球の未来のために 神島化学ではECOで社会に貢献しています。

環境にやさしいリサイクル技術・省エネ技術

建築現場での建材ゴミの軽減に

工場での建材プレカット化を推進しています。
もちろん、カット端材は全てリサイクルしています。

リサイクル原料の使用

神島化学の建材は3種類のリサイクル原料を使用しており、
その割合は50%にもなります。

パレット・緩衝材のリサイクル使用

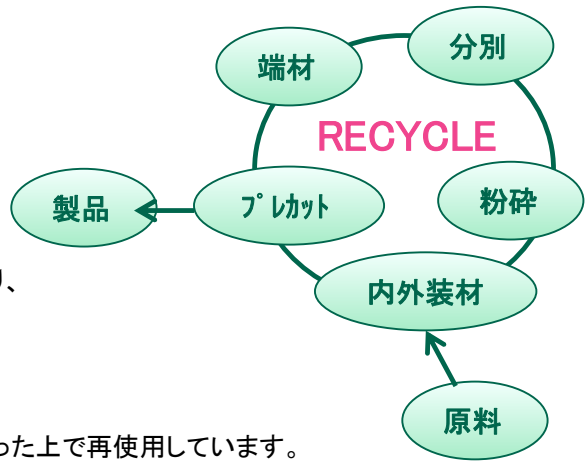
出荷したパレット・緩衝材は極力回収し、点検・補修を行った上で再使用しています。

住宅のメンテナンス費用を削減する建築材料

高耐久建材製品の開発に力を入れて、メンテナンス費用と回数の削減に一役買っています。

省エネ施工の建築材料

簡単取り付けの金具施工建材で建築現場での省エネに努めています。



注意事項

本資料には、神島化学工業の業績に関して、歴史的事実および将来の見通しが含まれています。これらの見通しは将来の業績を完全に見通したものであるとは限らず、将来の業績に影響を与うるリスクや不確実な要素が含まれており、実際の業績は様々な要素によりこれらの見通しとは異なることがあります。